

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	地域公共交通事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	2 款 1 項 14 目	事業番号	514	所属長名	小笠原幸男
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	木曾智仁	
法令根拠等	伊予市総合計画、伊予市地域公共交通システム計画、道路運送法				実施期間	【開始】	令和/平成 22 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 人に優しい道路・交通体系づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	中山・双海地域の人口減少地域における交通手段の確保及び本庁地区の交通空白地域の解消を図るために運行を行う。						
事業の対象	交通空白地域の利用者及び交通弱者			事業の目的	誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、人口減少地域及び交通空白地域に配慮した「分散型まちづくり」の推進、各地域の均衡ある発展を図るため、市民にとって便利で使いやすい公共交通システムを構築する。		
事業の内容 (整備内容)	市民生活における交通手段の確保と地域内交流の促進に伴う地域活性化を目指すため、中山・双海地域にはデマンドタクシーを、本庁地区にはコミュニティバスをそれぞれ導入し、適正な運行管理を行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	特にデマンドタクシーの利用者数の減少に歯止めがかからないため、地元住民に対して利用啓発を行い、新たな利用者の発掘、また利用促進に努める。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績	
直接事業費	59,294	56,884	41	0	0	56,364	デマンドタクシー利用者数	人	5177	6500	2409	4603	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0							
	県支出金		0	0	0	0							
	地方債	26,000	52,800	141	0	0	52,600	コミュニティバス利用者数	人	9128	10000	4796	10070
	その他	31,239	3,000	0	0	0	3,250						
	一般財源	2,055	1,084	△ 100	0	0	514						
職員の人工(にんく)数	0.85	0.85				0.85							
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841	公共交通啓発チラシ	回	5	5	2	7	
※ 直接事業費+人件費	65,934	63,549				63,029							
主な実施主体	(有)日光タクシー、(有)どるぼハイヤー(南)、(有)伊予観光タクシー、(有)松前交通タクシー、(株)協和産業		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料								
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計			
					60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	300,000			
成果指標	指標	デマンドタクシー及びコミュニティバスの利用者数		単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標 毎年度			
				人		目標	16500	16500	16500	16500			
	指標設定の考え方	デマンドタクシー及びコミュニティバスを利用した人数を指標として設定することにより、当該事業の必要性・実効性を認識する。				実績	14305	14673					
	指標で表せない効果	コミュニティバスは、新たに追加した路線や停留所及びフリー乗降区間により利用者数の増加が見られる一方、路線によっては利用者の伸び悩みがある。また、デマンドタクシーは年々利用者数が減少となっている。全体の利用者は増えつつあるが、各路線の利用状況を注視する必要がある。											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		コミュニティバスの利用は堅調に進んでいるものの、デマンドタクシーの利用が伸びていない。広報等の周知を徹底し、利用増を目指す。											
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	コミュニティバス、デマンドタクシーともに円滑な運行がなされ、運用に関する支障はなかった。コミュニティバスに関しては、令和2年度の本格運行から2年目を迎え、堅調に利用者が増加している。路線・停留所の追加、フリー乗降区間の導入など、再編後の仕組みが徐々に浸透した結果と推測する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 市民の生活交通手段の確保、地域間移動の促進による地域振興を推し進めるため、事業の継続が必要であると判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 【行政評価委員会委員選定事業】 コミュニティバスもデマンドタクシーにおいても、利用促進を図るため対策を速やかに検討・実施すること。		
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政 評価 委員 会 の 答 申	外 部 評 価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーのチラシは非常に見づらい。記載内容を工夫して便利さが伝わると利用率が上がるだろう。 ・利用者が減少しているのであれば、利用を止めた人にどうして止めたのかアンケートをとるとよい。 ・デマンドタクシーの方が費用がかかっており、その在り方も考えなければならない状況だろう。一度事業を始めたから同じように継続するのではなく、違う形でのサポートも考えていく必要があるのではないかと。 ・高齢者世代も移動している。どんな移動があり、何が必要なのか。つぶさに観察し、ニーズを把握していくしかない。 ・地域公共交通は福祉施策でもある。そういう観点・切り口でその在り方を見直してみることが大切である。今までとは違った角度から、もう一度事業それ自体を分析し直す余地がまだ残っているように思う。
------------------------------------	------------------	---

今後の方向性 (ACTION)

の 経 営 者 判 断 議	事業の方向性		コメント欄	
	<input checked="" type="checkbox"/>	さらに重点化する。		デマンドタクシーについては、地域内を出ることができない運行では利用者のニーズに応えられない。ニーズを踏まえた運行内容の見直しを検討するとともに、効果的な周知を図ること。
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。		
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。		
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。		
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		